

第5回 奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ開催のご案内



私たちの身近にある性暴力

～性暴力のない社会を目指して、性暴力被害の理解と支援～

報道等でもよく耳にするようになった「性暴力」や「性暴力被害」。皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。性暴力被害は、年齢や性別を問わず、誰にでも起こる可能性がある深刻な問題です。性暴力のない社会を目指し、私たち一人ひとりが性暴力や性暴力被害について知り、そして身近な被害にきづいて支援できるきっかけになればと思います。



奈良学園大学  
保健医療学部  
看護学科  
服部 律子 先生

開催予定

日時：令和3年12月11日(土) 14:00～15:30  
会場：奈良学園大学(登美ヶ丘キャンパス) 1号館4階 409教室

こちらから  
申込みください。



第6回 奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ開催のご案内

ちびっこ広場～親子遊び講座～

第6回奈良学園大学登美ヶ丘カレッジでは「ちびっこ広場」を行うことになりました。2019年まで行っておりました「ちびっこ広場」のように、学園内の広いスペースを利用して親子が楽しみながら学べる企画を開催いたします。地域の未就園児(今回は1～2歳児のお子様に限らせていただきます)と保護者の皆様、是非ともご参加ください。



奈良学園大学  
人間教育学部  
人間教育学科  
前田 綾子 先生



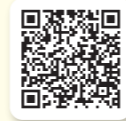
奈良学園大学  
人間教育学部  
人間教育学科  
高岡 昌子 先生

開催予定

日時：令和4年2月16日(水) 10:00～11:00  
会場：奈良学園大学登美ヶ丘キャンパス エクササイズルーム  
内容：親子で遊ぼう(ふれあい遊び等)

※ソーシャルディスタンス・換気・消毒の徹底等、感染防止対策を行います。  
※教員だけでなく学生も参加します。

こちらから  
申込みください。



※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されている日程・開催時間等が変更となる場合がございます。最新情報は随時ホームページで更新いたしますのでご確認ください。

ニューズレター第3号 編集後記ご挨拶

第3号発刊にあたり、地域の施設・学校関係の皆様改めて感謝申し上げます。

今回は、文化あふれる登美ヶ丘地域の中から「松柏美術館」をご紹介します。日本画壇を代表する作品展示、大淵池に面した庭園、野点喫茶、散策など、芸術・食欲・スポーツの晩秋を楽しみ、近くの公園など豊かな環境に浸る時間が流れそうです。

学内では、東アジアの連携大学と学生によるオンライン交流を進めております。また、感染症予防対策の徹底を図りながら「奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ」も充実させて継続して参ります。今後共、ご意見やお知恵、情報等を寄せて頂ければ幸いです。



奈良学園大学  
社会・国際連携センター長  
善野 八千子

第4回 奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ開催

今回は「スポーツ現場で役立つテーピング」をテーマに実施した。理学療法士でありバレーボールチームのトレーナーとして豊かな経験を持つ、本学保健医療学部リハビリテーション学科の野田優希助教が講師を務められ、運動部で活動する高校生や大学生を中心に、大人の方まで幅広い層が受講された。



奈良学園大学  
保健医療学部  
リハビリテーション学科  
野田 優希 先生

テーピングの基本的な切り方を練習したのち、主に2つの技術の解



説があり、テープの巻き方の確認をしやすいように映像教材が用意されていた。1つ目は「足関節捻挫に対するテーピング」で、最初に皮膚を守るためのアンダーラップを巻く練習を実施した。その後、ホワイトテープを巻き、足関節の固定方法を学んだ。普段からテーピングを使い慣れている人の中には、与えられた時間で繰り返し練習する姿も見られた。2つ目は「アキレス腱の痛みに対するテーピング」で、剥がれにくいよう角を丸く切る、筋肉を伸ばした状態で貼るなどのコツがたくさんあった。

奈良学園大学周辺施設の紹介

松柏美術館

近隣の「松柏美術館」を紹介いたします。  
ご原稿は、松柏美術館事務局次長 矢吹誠志 様より頂きました。



奈良市学園前の閑静な住宅街に位置する松柏美術館は、日本画壇を代表する上村松園、松篁、淳之の上村家三代の作品、下絵、スケッチなどを収蔵、展示しています。上村松園は、典雅な女性像を描き、近代美人画を大成した女流作家であり、その子、松篁とその孫、淳之は清雅な花鳥画で有名です。当館は、上村家からの作品の寄贈と近畿日本鉄道(現 近鉄グループホールディングス)からの基金出捐により1994年3月に開館したもので、故佐伯勇 近畿日本鉄道 名誉会長の旧邸敷地内に建築された近代的な美術館と和風家屋の旧佐伯邸から構成されています。館名「松柏」の「松」は、上村松園、松篁両画伯の名前と、庭園に植えられている数十本の美しい松に、「伯」は、画伯の伯と故佐伯名誉会長の伯や邸内の茶室の号「伯泉亭」に由来してつけられています。さらに松柏(しょうはく)の音は、常磐木である「松柏」にも通じ、長く栄えることができるようにとの意味も込められています。

大淵池に面した約1万㎡の広大な敷地内には、四季折々に美しく趣を変える自然豊かな庭園も広がっています。著名な建築家、村野藤吾の設計による旧佐伯邸は基本的には非公開ですが、邸内の日本庭園は土・日・祝日に野点喫茶として一般公開しています。上村家三代の芸術に触れていただくとともに庭園散策もあわせてお楽しみください。皆さまのご来館、心よりお待ちしております。

また、当館は日本画の普及、作家の育成にも取り組んでおり、開館時より公募展を開催してまいりました。そこで、これまでの公募展の歩みを振り返る機会として、大賞受賞作家の作品を紹介する企画展「未来につなぐ日本画展—松柏美術館公募展大賞受賞作家の現在—」(令和4年2月11日(金・祝)～3月13日(日))を開催いたします。学生の皆さまは無料入館とさせていただきますので、ぜひご鑑賞ください。



## 人間教育学部からのご挨拶



奈良学園大学  
人間教育学部 学部長  
森 一弘

はじめに、『考える』ということについてお話しさせていただきます。『考える』ということをご昔は【かむかふ】と言ったそうです。最初の【か】には意味がなく、【む】というのは「身」であり、【かふ】とは「交ふ」という意味です。つまり、『考える』ことは「自分が身をもって相手と交わる」ことだと言えます。

人間教育学部は、教育学部の前に『人間』という言葉がついています。この『人間』と『考える』という言葉をつなぎますと『人間』について『考える』となります。この意味は、対象となる人と交わることであり、「対象と私がある親密な関係に入り込んでいく行為」となります。人と人が互いに相手の身になり、敬意をもったり、信用したりする行為ということです。

令和4年4月に登美ヶ丘キャンパスに移転した際には、「地域の皆様について考える」ことを通して、地域の皆様の身になり考え、親密な関係を築き上げていきたいと考えております。何卒、よろしくお願い申し上げます。

## 奈良学園大学の教員紹介

奈良学園大学 人間教育学部 人間教育学科

松岡 克典 先生



私は算数科教育指導法や授業デザインの研究をしています。これまで、公立10年、国立9年、私立12年と計31年間、小学校に勤務し、教師になる前は企業にも就職していました。

特殊な経験を活かして、大学ではグローバルな視野を持ち、よりよい授業づくりに参画しようとする「教師」を育てるためのお手伝いをしたいと考えています。

「よい授業」を追究するために、各地の小学校を訪れたり、模擬授業を行ったりするなど、現場の先生方との繋がりを大切にしたいと考えています。

奈良学園大学 保健医療学部 看護学科

井上 葉子 先生



私は、看護学部で主に保健師を目指す学生の教育に携わっております。大学に勤めるまでは保健師として病院や保健センター等で健康相談・保健指導・健康教育などを行い、赤ちゃんから高齢者まで様々な方への疾病予防と健康づくりを支援してきました。その経験から現在は、住民の健康づくりや在宅療養者と家族の生活の質の向上を目的とした研究をしています。近頃では、ラフターヨガ(笑いヨガ)リーダー資格を得て、近隣の小中学校のPTA活動でのラフターヨガの出前講座を行っています。

奈良学園大学 保健医療学部 リハビリテーション学科

前田 吉樹 先生



私の専門分野は「痛み」です。大学では、痛みが慢性化する仕組みを研究したり、痛みを抱える患者さんへの関わり方を学生に教えていたりしています。また同学科教授の柴田と共に厚労省の「慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業」に携わり、よりよい痛みの診療が受けられる医療体制を広める活動をしています。

長引く痛みは多くの方が訴える症状です。痛みに対する疑問や付き合い方など、関心のある方はご相談ください。

## 卒業生からのメッセージ



奈良学園大学  
人間教育学部  
2期生  
横尾 彩花 さん

私は、奈良学園大学で小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、司書教諭の免許資格を取得しました。大阪府の教員採用試験に合格し、卒業後は小学校の教員になって3年目になります。

子どもたちの成長を見守り学び続ける職業だと実感しながら、楽しい日々を過ごしています。悩んだり困ったりしたときには、職場の同僚だけでなく、4年間を共に過ごし共に採用試験に励んだ仲間、常に学び続けることを教えてくださった先生方が相談にのってくれます。卒業後も気にかけてくださる環境は、奈良学園大学の魅力だと感じています。

登美ヶ丘キャンパスでは2022年からスタイリッシュな新校舎になるとのこと、とても楽しみです。

## 在学生からのメッセージ



奈良学園大学  
保健医療学部  
看護学科  
進藤 晃彰 さん

私の夢は、看護師として働き、たくさんの人たちの心の支えになることです。

私はこの大学に入学し、保健師課程を選考しました。4回生になり、国家試験に向けて看護師の勉強と保健師の勉強に勤しんでいます。

1年生時から学友会に所属しており、新入生歓迎会の企画、オープンキャンパスの手伝いなど学校行事に深く関わっていました。看護師の勉強以外にも他学年や他学部との関わりやみんなと協力して成し遂げる達成感など、さまざまな学びを得ることが出来ます。人との関わりを大切に目標に向けて努力していきたいと思っています。

## 季節のコラム 「きよしこの夜」とサンタクロース

クリスマスソングとして知られる「きよしこの夜」は1818年12月24日、ザルツブルク近郊オーベルンドルフの聖ニコラウス教会で初演された。その夜の礼拝のためにヨセフ・モール司祭のテキストにオルガン奏者のフランツ・クサーバー・グルーバーが作曲し演奏されたもので、このドイツ語「Stille Nacht」の曲は、その後「Silent Night」として英訳され、その他320以上の言語により世界中で親しまれるクリスマス聖歌となっている。

一方、初演された教会名の聖ニコラウスは4世紀前半に活躍したキリスト教の司教で、その伝説からサンタクロースに由来する人物といわれている。聖ニコラウスの命日である12月6日に行われる贈り物を交わす風習が、20世紀に入りいつの間にかそれがクリスマスの習慣としてサンタクロース像とともに作り出されてきたといわれている。この教会で誕生したクリスマス聖歌が、後年サンタクロースにもつながり大変面白いものである。

現在、教会は災害により取り壊され、その跡地にグルーバーとモールの記念礼拝堂(Stille-Nacht-Kapelle)として建立されている。そして、この曲はオーストリアの無形文化遺産としてユネスコに認定されている。

クリスマスにはこの清らかな音楽で世界が祝福されますように。

(文/人間教育学部人間教育学科 青山雅哉)

